

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ガラテヤ 6:9-10 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 307番 空とぶ鳥みよ
- *交読文 …… 64番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 308番 実れる田の面(も)は
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:浪川執事 天声:小林 伝道師
- 賛美 …… 311番 燃える紅葉が山を染め
- メッセージ …… いのちの言葉の種を蒔こう(箴言 18:20-21)
- 御言葉を適用する祈り …… 一同
- 賛美 …… 306番 めぐみをうけて
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 …… 次週よりアドベントが始まります。主のご降誕を覚えつつ過ごしましょう。
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

種は、神の言である。(ルカ 8:11)

思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く____は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。ですから、____は、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行ないましょう。(ガラテヤ 6:7-10)

わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは、神である。だから、植える者も水をそそぐ者も、ともに取るに足りない。大事なのは、成長させて下さる神のみである。(1コリント 3:6-7)

____は自分の言葉の結ぶ実によって、満ち足り、そのくちびるの産物によって自ら飽きる。死と生とは舌に支配される、これを愛する者はその実を食べる。(箴言 18:20-21)

本日は収穫感謝祭、主が大地の実りを私達に与えて下さった事に感謝する日である。農夫は、収穫を得るために地を耕し、肥料をやり、時期に合った時に種を蒔く。あとは、天が作物を育ててくれる。太陽光と雨が適切に供給され、雨風や虫におかされたりしなければ、時が来れば実がみのり、農夫は収穫にあずかれる。人は種をまき、水をそそぐ事はしても、結局、成長させて下さるのは、神である。(1コリント 3:7)

神の言葉にはいのちがあり、そのいのちは、人の光であり、そしてその言葉はキリストである。(ヨハネ 1:4)

霊的には、神の言葉は種であり、その蒔かれる先の土地は、人である。神は、その御口(ペー)から言葉を発せられると、その通りにいのちが動き、物事が動き、実体化した。世界は、神の言葉によって創造された。この神の種が宿っている人は、神から生れた者であり、罪を犯し続ける事ができない。(1ヨハネ 3:9)

人は元々、ちりにすぎなかったが、神の御口から息吹かれた「神の息」が入ったゆえ、神に似た者、神のかたちとなった(創世記 1:26)。人は「神の息」がかかっている故、神に似た者であるが、もし神の言葉に反し、御言葉の秩序から外れてしまうなら、ただの「動くちり、蛇のエサ」に成り下がってしまう(創世記 3章)。

「神の息」に由来しない言葉は、人を徐々に死へ至らしめる。それが、良い言葉であれ、悪い言葉であれ。「息」はヘブライ語でルアハ、霊とも訳せる。イエス様は言われた。『人を生かすものは霊であって、肉はなんの役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。』(ヨハネ 6:63)

だから、イエス様の言葉こそ霊であり、いのちであり、これが人を癒し、人を生かす。神の息(霊)なしの人、すなわち、肉にあって生きている人の息がかかった言葉は、何の役にも立たない。だから私達は、主を信じる信仰を混ぜた言葉を「種まき」すべきであって、それ抜きの言葉を乱発して、秩序を破壊すべきでない。

サタンはこの時代、メディアや映像を通し、「サタンの息」のかかった言葉を投げかけて来る。サタンは時に、御言葉さえ、サタンの息を混ぜて投げかける。その言葉は人を誘惑し、死へと至らしめる(マタイ 4章)。だから、言葉の内容に惑わされず、「どの息」がかかった言葉であるかを見分ける必要があり、それを見分けるのは、理屈ではなく、霊である。それをはねのける唯一の方法が、神の息で息吹かれた御言葉を宣言する事によって、である。イエス様は荒野でサタンの試みに遭われた時に、それを示して下さい。

だから私達も、テフィリンによって御言葉を自分自身によくなじませておく必要がある。自分の思い・意思・感情を、御言葉で満たし、「防護柵」張っておくなら、世が、サタンが吹き込もうとしてくるマイナスの言葉を防ぎ、人の言葉にいちいち傷つけられる事がなくなる。世の言葉も、サタンの息がかかった言葉も、イエス様の息、すなわち、「御霊による御言葉の剣」によって打ち破るからだ。(エペソ 6:17)

私達も、イエス様のように御父に従順し、御言葉に信仰を混ぜて「種まき」して行くな、その言葉は霊となり、いのちとなり、人を生かし、サタンを打ち砕く方向へと、成長して行くのだ。だから私達は、御言葉を信じる信仰を混ぜた言葉を至る所に「種まき」して行くべきであり、また、そのような交わりをするべきである。

御言葉のある交わりには、いのちと繁栄がある。ダビデ王を出したボアズの家は、なぜ、飢饉の時代でも有力者になって行ったか。それは、彼らは単に穀物の種を蒔いていただけではなく、互いに祝福の言葉を蒔いていたからである。ナオミも、良い時も悪い時にも、祝福の言葉を蒔く人だった(ルツ 1:8, 2:19-20)。

家庭内、あるいは事業所内で、祝福の挨拶を蒔き合う事が、有力者となる重要なコツの一つである。

逆に、文句や呪いの言葉を蒔き合う事は、廃れてしまう原因となってしまう。「人は自分の言葉の結ぶ実によって、満ち足り、そのくちびるの産物によって自ら飽きる」(箴言 18:20) からだ。『気をつけるがよい。もし互にかみ合い、食い合っているなら、あなた方は互に滅ばされてしまうだろう。わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば決して肉の欲を満たす事はない。』(ガラテヤ 5:15-16)

神は私達を、神の似姿として創られた。それは、人が神のように、この世を、いのちの言葉を蒔いて、いのちを増やし、いのちで支配し、いのちを保つためである。この呪われてしまった被造物の呪いを唯一、打ち消すのは、信仰をもって御言葉を種まきする事によって、である。神の子として、神の言葉を種まきし、呪われ、破壊され、死で覆われてしまったこの世界を、いのちで吹き返し、再創造し、なぐさめをもたらす皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第14巻47号

2019年11月24日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報

集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 賛美 10:30 礼拝 11:00
食事/フェローシップ 12:30～
English Service 14:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:30～
金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅

6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分

JR・関内駅より徒歩10分

京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211



Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

You & Jesus